



～ならチャレンジ設立10周年記念事業～

病院・高齢者施設で活躍する！ 障害のある若者 就労現場からのレポート

2020年8月30日 奈良県橿原文化会館小ホール

【来賓】末光大毅副知事、吉田育弘県教育長

【後援】奈良県、奈良県教育委員会

【展示】特別支援学校生徒卒業生アート作品

【出演】con brio（コンブリオ）

【運営】高等養護学校卒業生ら16名（司会、受付、会場係、舞台係） 【YouTube配信】HPからリンク



末光大毅副知事

吉田育弘県教育長

末光大毅副知事、吉田育弘県教育長をはじめ140名の皆様を迎えて、「ならチャレンジ設立10周年記念事業 病院・高齢者施設で活躍する！障害のある若者 就労現場からのレポート」を開催しました。

高等養護学校卒業生ら16名が受付、司会、会場係、舞台係スタッフとなり、全体を運営しました。会場ロビーでは生徒卒業生10名のアート作品を展示し、con brio（コンブリオ）によるインドネシア楽器「アンクルン」の演奏で開幕。

奈良県立医科大学附属病院、南奈良総合医療センター、奈良市和楽園の障害のある若者、職員さんは、現場のたゆまぬ努力、両者の信頼関係がしみじみと伝わるレポートをされました。報告後、7名の参加者から活発な質問や意見があり、障害者就労の“心”を共有し、交流を深めました。

就労現場からのレポート



【奈良県立医科大学附属病院】

- ・風谷篤紀さん（34歳、短期大学卒、2018年11月採用）
- ・岡山弘美 障害者雇用推進マネージャー

2013年度から積極的に障害者雇用を進める。現在、39名の障害者雇用推進係員がICUをはじめ全ての病棟の看護補助、病理部の検体作業、データ入力作業等に従事。

風谷篤紀さんと岡山弘美障害者雇用推進マネージャーの深い信頼関係がじみでる、掛け合いによる報告です。風谷さんはごく自然に、自分の言葉で語られました。

◆風谷篤紀さん（かぜんたに あつのり）

1. 発達障害を知った時の気持ちは・・・

「発達障害は23歳のとき知りました」「やっぱりと思いました。中学生のころから周りと違うと苦しんでいました」「変化が激しい、臨機応変は精神的に負担が大きく、苦手です」
「いつもメモを取るようにしています」

2. 実習生を指導して・・・

「最初、実習生に厳しくしていたのですが、岡山係長からお話があり、やさしく、できることをほめるようにしました」
「わからないことを聞けることが大切です」「ながら作業ができるようになりました」

3. 支援者へお願いしたいことは・・・

「かなしい支援者は次の方です。
①理由をきかず頭越しに怒る ②短気 ③上から目線の人 ④仲よくなろうとベタベタする人
⑤監視している人」

「うれしい支援者は次の方です。

①わからないことを聞ける ②やりやすい方法を教えてくれる ③自分のことを何でも話ができる」

「距離感が大切です」

「個性が大切にされる社会になってほしいです」

4. 家族への思い・・・

「家族は自分の人生を守ってくれる存在です」「家族が支えてくれています。すばらしい母です」「ありがとうございます」



5. 自分らしく生きる・・・

「趣味は二次元の女の子です。仕事を頑張り、趣味を楽しめます。これからも一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました」

◆岡山弘美障害者雇用推進マネージャー

風谷さん、岡山マネージャーは、お互いに“よきパートナー”です。



「2年前の8月、実習でお会いし、超真面目、不器用、一生懸命に取り組む姿を見て、一緒に働きたいと思い採用しました」
「2年間で、できる仕事は増え、丁寧な作業で助かっています」
「風谷くんとは何でも話しができ、2人だけの秘密の会話もあります」

「39名の係員は個性を活かして活躍しておられます。サポートするにあたり、私は、①任せる ②認める ③感謝する を心がけています」

【南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター】

・乾梨織香さん（看護補助、19歳、高等養護学校卒、2019年4月採用）

・大西喜代子 看護師長

「南和の医療は南和で守る」基本理念のもと、奈良県、五條市、吉野郡11町村運営で同センターは2016年4月開院。2019年4月、初めて知的障害のある看護補助者を採用。

◆乾 梨織香さん（いぬい りおか）就労して1年5ヶ月。乾さんの笑顔、意欲いっぱいの報告です。

1. 南奈良総合医療センターで働きたい理由・・・

「実習のとき、患者さんが“ありがとうございます”と笑顔で言ってくださって、私が人の役にたっていると思うとうれしくて、勇気ができました」

「人を笑顔にしたかったし、人の役に立ちたい、自分の実力を発揮したい、いろんな人に私を見てもらいたかったからです」

「3回実習をさせてもらって、ここで就職したいと思いました」

2. 後輩へのアドバイス・・・

「コミュニケーションと笑顔は大切です」

「笑ったら皆さんのが幸せな気持ちになります」

「失敗しても反省して前に進むことが大切です」

「メモを取ることも大切です」

「先生方の言ってくださることは大事なので、聞いておくべきだと思います」

「今の時間を大切にして、感謝の気持ちをもって、頑張ってください」



3. 将来の夢・・・

「1つ目は介護資格を取って、もっと活躍できることが増えるようにしたいです」

「2つ目はお父さんを養うことです」

「生まれてから今日まで、ずっと私のことを育ててくれたのが、お父さんでした。どんな時も私の味方でいてくれたり、私のことを誰よりも応援してくれました」

「お父さんに早く安心してもらえるようにします。それが私ができる親孝行だと思います」

「夢が叶えられるようにこれからも自分に厳しくしていきたいです」

◆大西喜代子看護師長

乾さんへの愛情いっぱい、「チーム看護部」満載の報告です。
「後輩の高等養護学校生徒実習の際、乾さんに実習計画、指導を一緒にしてもらい、楽しく実習ができました。乾さんの頑張る姿が後輩の励みとなり引き継がれるよう願っています」
「乾さんは笑顔でがんばっているので、1月、南和広域医療企業団企業長から特別賞を表彰され、病棟スタッフみんなで喜び合いました」
「私は乾さんが大好きです。スタッフみんなも乾さんが大好きで頼りにしています。内科病棟チームは乾さんを一人の看護補助者として見守り、応援していきます」



【中川幸士南和広域医療企業団企業長 挨拶】

「10年前、私が県庁の医療担当課長のとき、ならチャレンジドの赤川さんと出会い、特別支援学校生徒が取り組んでいた“県庁ほのあかり”に看護師と一緒に参加しました」

「その後、医療現場の就労にむけて県立病院、医大病院の看護部長を赤川さんへ紹介させていただき、私も病院へお願いしました」

「これは我々のチャンスだと思いました。1つは、医療現場では医師や看護師などの専門職が多く、業務と業務の間をつなぐ隙間で様々な仕事があり、これを担ってくれ病院がスムーズに運営できると期待しました。

もう1つは、障害のある生徒と関わることで、医療現場で人育てる力がつき、職員のためになると思いました」



「職場実習は本人も受け入れ側もお互いに学ぶ機会であり、採用へつながる、とても有意義な取り組みです。今後、採用を考えている病院は、是非、職場実習を取り入れてください」

「障害のある人々は医療現場で大切な戦力であり、活躍してくれています」

「この10年間、医療現場、関係者の努力の結果、医大病院をはじめ奈良県内の医療現場で、ここまで拡がってきました。その“炎”をともらせ、つなげて来られた、ならチャレンジドさんの取り組みと情熱に感謝します」

【社会福祉法人 奈良市和楽園】

- ・樺葉勇輝さん（18歳、高等養護学校卒、2020年3月採用）
- ・茶山健さん（18歳、高等養護学校卒、2020年3月採用）
- ・竹内義朋 施設長

1932年、和楽園は奈良市民生児童委員により設立。

現在、奈良養護学校卒1名（介護補助）、高等養護学校卒3名（清掃）が従事。

◆樺葉勇輝さん（かしば ゆうき）、茶山健さん（ちゃやま たける）

司会者の質問に答え、働く意欲、将来の夢等を語りました。

I. 奈良市和楽園で働くと思った理由を教えてください。

樺葉さん 「実習の時に利用者の方や職員の方が明るくて、やさしかったからです」

茶山さん 「実習の時、トイレと洗面台がきれいになって、楽しく、掃除が好きだからです」

2. 初めての給料は何に使いましたか？

桜葉さん 「自分の好きな漫画きめつの刃と雑誌まんがタウンを買いました」

茶山さん 「陸上の1万円ぐらいのシューズを買いました。残りは貯金をしました」

3. 仕事をしてて大変なことやしんどいことは何ですか？

桜葉さん 「拭き掃除とトイレ掃除の時、かがむから腰
や背中が痛くなって、たいへんです」

茶山さん 「来客用トイレの清掃で、水を流したり、ス
プレーを使ってゴシゴシするのが大変です」



4. 仕事をしてて楽しいことやうれしいことは何ですか？

桜葉さん 「掃除をしている時に“キレイに掃除をして
くれて、ありがとう！”と、言ってもらえたことがうれしかったです」

茶山さん 「洗面所やトイレ清掃で、汚れているのをピカピカにすることです。おじいさん、
おばあさんに“ご苦労様”“いつもきれいにしてくれて、ありがとう！”と、言つ
てくれるのがうれしかったです」

5. これからの目標、将来の夢は何ですか？

桜葉さん 「お金をためて、1か月に1回、虹の湯というお風呂屋さんへ行ったり、好きな漫
画を買いたいです」

茶山さん 「夢は、陸上400mで来年の東京パラリンピックに出場することです」
「鴻池陸上競技場、樅原陸上競技場のナイトランに行って、ひとりで練習していま
す。土曜日は高等養護学校グラウンド、また家の近くの白川ダムに行って坂道を
練習しています」



◆竹内義朋施設長

2人へのあたたかい期待、将来へむけた構想を語られました。
「真面目で一生懸命、丁寧な作業なので採用を決めました」
「2人は強みをしっかりと活かし弱みの改善に挑戦して、将来
の和楽園を担ってほしいと期待しています」
「和楽園は今後、児童発達支援事業、障がい者就労継続支援事
業を展望しています。障がいのある職員は毎年、継続して採
用します」

3事業所からは若者の頑張り、若者と職員さんの信頼関係が自然とにじみ出る、障害者就労の核心のレポートでした。

「ありがとうございます」と言われ、人の役にたっている実感が若者の成長の源です。若者のありのままを受け入れ、そして、若者のよさ=強みを見つけ、活躍できる場、環境を整えることが職場の役割であることを実感しました。若者たちと信頼関係を築けるか否かが、とても重要なことです。

「お互いわからないことを聞ける」そんな関係になれば若者は持っている能力以上のものを發揮し、職場で「なくてはならない存在」となります。

誰もが若者と最高なパートナーとなり、一緒に成長できます。

ならチャレンジドは10年間職場実習を取り組み、生徒57名が就労へつながりました。

引き続き、あらゆる職域において障害のある若者の就労の機会を探っていきます。

参加者の感想 76名の感想ありがとうございました。

入り口から笑顔でむかえ入れていただきました。また、不思議な楽器でのなじみのある曲の演奏、とても心があたたまりました。

そして3つの就労されている方々のお話を聞かせていただき、すべての方に共通することが笑顔、目標をもつこと、メモをとること、わからないことはわからないと言える場であること、ありがとうございましたという言葉の大きさでした。

この機会をもつにあたって、たくさんの方々の御苦労があったと思いますが、開催してくださり本当にありがとうございました。

自分のことを自分の言葉で伝える、とても大切ですし、とてもすてきなことだと思いました。

ありがとうございましたと言ってもらえること、みとめてもらえること、はたらく、生きていくのに大切なことだと感じました。

本人さん達と共ににはたらく方々の関係性がとてもすてきでした。



風谷さん、岡山さん、とてもいい雰囲気でお人柄がにじみ出てくる報告でした。人と人、互いに支え合って、お互いのよさを引き出し合って人は生きているんだなど、感じさせられました。

乾さんは笑顔でとても素敵で、もち前の力を十分に發揮しておられる姿が印象に残る素晴らしい発表でした。お父さんへの思いをあたたかく、これからも夢の実現に向け頑張ってほしいです。

樺葉さん、茶山さんは今春卒業したばかりなのに、この数ヶ月でずい分成長したなど感じます。

茶山さん、パラリンピックめざし、頑張ってください。心から応援しています。

岡山さんの任せる、認める、感謝するという言葉は全てに通じると感じました。

司会の人、最高に良かった！！



就労者の頑張り、受け入れ側の施設の工夫の積み重ねにより、就労の場が拡大していることは、すばらしいと思います。報告の中で、風谷さん、乾さんが後輩の実習生の指導をされているとの報告を聞き、この動きが将来につながる可能性を感じました。



すばらしかったです。

ありのまま、素直な、そのままのことばやふるまい、一般社会の中では、なかなか笑ってうけ入れられないような空気が、今、この会場にはあって、子ども（息子）は、ほっと居心地がよかったです。皆さんのが将来が輝くようお祈り申し上げます。

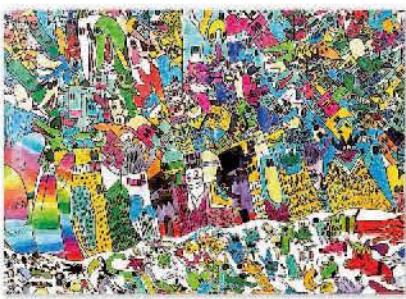
心があたたかくなる思いがしました。

就労者と事業所支援者の信頼関係が強く感じられたからです。

人が生きていくということは、そういうことなんだな、とあらためて教えていただきました。



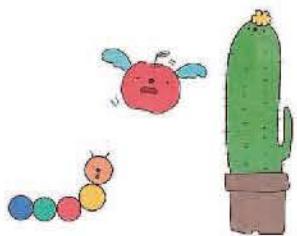
「ハエトリグモ」
上東芳暢



「虹へび」
山口真生



「日本の恐竜」
坂元陽介



「サボテンとイモムシ」
濱美華



「オートロイド」
吹井充

お陰様で、ならチャレンジド 設立10周年！

更なるステージへ挑戦します

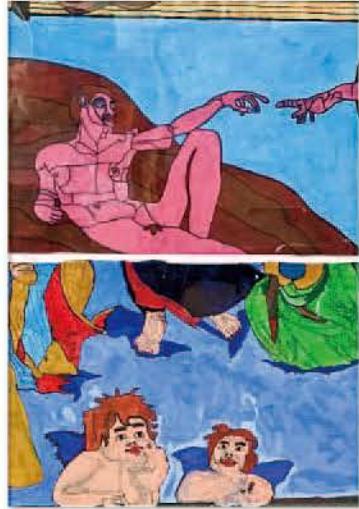
私は特別支援学校生徒たちの純朴で
ひたむきな姿に心惹かれ、当法人を立
ち上げました。

この10年、職場実習や社会参加活
動、アート展と一緒に取り組み、生徒
たちから多くを学びました。

私にとっては、生徒たちとの出会い
が人生の転換期、生きる勇気と元気を
いただいた源であり、大切な“なか
ま”です。障害のある若者は、このギ
スギスとした社会へあたたかい、やさ
しい風を吹き込み、人間復権の営みを
もたらしています。

これからも生徒卒業生たちと共に歩
み、就労、アート、社会参加を通じ、
障害のある若者が社会の“ど真ん中”
で胸を張って生きられる文化を打ち立
てることをめざしてまいります。

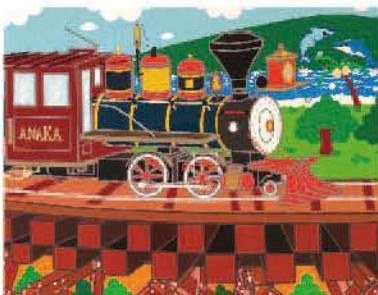
NPO法人ならチャレンジド
理事長 赤川 義之



「絵画模写」
大石夢都



「たいせつなことば」
山口悠生



「シュガー・ケイン・トレイン」
祭原良介



「奈良中央信用金庫キャッシュカード」
岸本垂矢子



「Aloha」
北口拓巳

キラリと輝く！ 個性あふれるアート <展示作品>

中山友二さん(シティサービス勤続25年)優秀勤労障害者表彰!

～独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰～

10月1日 県福祉住宅体験館

【来賓】川手健次 県総合リハビリテーションセンター院長、県障害者総合支援センター所長

平 久一 奈良労働局職業対策課長

北村辰治 県総合リハビリテーションセンター院長補佐、県障害者総合支援センター副所長

中井和代 県教育委員会特別支援教育推進室長

年度障害者雇用優良事業所等



中山友二さん（58歳、株式会社シティサービス）は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の理事長表彰「優秀勤労障害者表彰」されました。おめでとうございます。

東京で表彰される予定でしたが、新型コロナウィルス感染症の拡大により地元での表彰となりました。

中山さんは県立高等養護学校を卒業後、川西町の企業へ就職し、32歳の時、県総合リハビリテーションセンター清掃業務の訓練を1年間行った後、株式会社シティサービス（代表取締役赤川義之）社員となり25年の長期にわたり同センター清掃業務を精勤されてきました。

中山さんは同僚を積極的に手伝い、施設を詳しく把握しているので新入社員の質問にも的確に応える等、真面目な仕事ぶりは現場の責任者、同僚、センター職員さんからも大変頼りにされています。

川手健次同センター院長から「中山さんはコツコツ清掃をされ、床はピカピカです」「おはようございます」と元気よく挨拶をされ、職員は「今日も頑張るぞ」と思っています」と祝辞をいただきました。平久一奈良労働局職業対策課長からも祝辞、田中信行同機構奈良支部長から表彰状をいただきました。

中山さんは「今日はうれしいです。25年間、働いてきてよかったです。今までどおり続けていくのが目標です」と笑顔で挨拶されました。

◎奈良県内で次の方々も各事業所にて同機構理事長表彰されました。おめでとうございます。

森忠義様（GMB株式会社、川西町） 株式会社アドバンス様（田原本町）

